

# 国際アニメーション人材育成プログラム構築・実践事業 (実施団体: 学校法人塚本学院(大阪芸術大学))

## 目的・目標

本プロジェクトでは、劇場アニメーション制作を体系的に学べる新コースを設置し、LEDウォールやモーションキャプチャー等を備えた「Vテック・ラボ」を活用した実践的教育を通じて、実写・アニメ・CGを横断的に扱える国際的クリエイターを育成することで、個人クリエイターの作家性に依存しがちな日本のアニメーション業界に、世界市場向け企画力と多様な映像表現に対応できる人材を供給し、日本の映像教育と産業の国際的プレゼンスを高めることを目指す。

## 概要

劇場アニメーション制作を学ぶ新コースを設置し、LEDウォールやモーションキャプチャー等を備えた「Vテック・ラボ」を活用した実践的教育を通じて、実写・アニメ・CGを横断的に扱える国際的クリエイターを育成する。

(区分・分野)  
アニメ

(対象となる職種)  
プロデューサー、監督、脚本家、作画監督、デザイナー

(育成人数)  
330名/3年

## 3年目までの取組

1年目は、カリキュラム設計やVテック・ラボの整備、教育環境の基盤構築を行う。教育面では、映像設計概念「プレビズ」を導入し、絵コンテや簡易セットを活用した体験型授業を展開。2年目には、LED撮影・モーションキャプチャ・実写合成等の高度な技術演習を本格化し、映像設計・撮影・編集までを含むプロジェクトベースの学修を行う。また、トリガー・BENTEN Film・東映・青二プロ等と連携し、短編アニメの産学共同制作を実施。現地での映画祭視察や海外大学との連携構築、合同講評会に向けた事前準備も行う。3年目には、学生主導で短編アニメ作品制作を本格化。Vテック・ラボの設備を最大限活用し、国際的な発信を前提とした作品づくりを行い、国内外映画祭での上映・セミナー発表など実践的成果に結びつける。完成作品は動画配信等も活用し、発信の場を広げることを想定している。



## 5年目までの取組

4年目以降は、第1期で確立した教育プログラムをもとに、国際展開と連携強化を図る。欧米や東南アジアの教育機関・映画祭との新規連携を推進し、クロスレビュー型の合同授業や講評会など国際共同研修を実施。5年目には国際共同制作プロジェクトを本格的に展開し、作品制作と並行してプレゼンテーションやセミナーも実施。完成作品は国内外の映画祭で発表し、U-NEXTやYouTube等の配信プラットフォームを通じた展開も想定している。また、成果物は学生のポートフォリオや記録映像として整理・蓄積し、第三者評価の仕組みを導入。教育資源や教員ネットワークの持続的活用、学外発信の定期化を通じて、長期的に活用可能な人材育成モデルの定着と展開を目指す。さらに、教育成果の発信力を強化するため、外部評価会議やシンポジウム等の公開発表の場も定期的に設ける予定である。

## 成果目標 (見込)

## 目標値

国際的な活躍に必要なスキル習得のために開発・実証された育成プログラムの数	3年目：3件 5年目：6件
国内外の教育機関・専門機関・企業・団体等との連携数	3年目：10件 5年目：14件
育成プログラムの参加者が世界的に認知されている海外の芸術祭・文化施設・大学等の教育機関への参画や招へいを受けた件数	3年目：3件 5年目：10件
育成プログラムの実証に参加した人数	3年目：330人 5年目：550人

## 中核となる指導者等



- ・田中光敏 (映画監督) 「天外者」「海難1890」等、監督  
日本アカデミー賞優秀監督賞、モントリオール世界映画祭 最優秀芸術貢献賞
- ・山賀博之 (プロデューサー・アニメ監督・脚本)  
映画「オネアミス翼」監督・脚本、NHK「ピアノの森」監督
- ・大塚雅彦 (プロデューサー・アニメ監督・脚本) 株式会社トリガー代表取締役  
「キルラキル」アニメーションプロデューサー  
「リトルウィッチアカデミア」プロデューサー・脚本

## 国際的な場での実践の取組例

- ・アマシー国際アニメーションフェスティバル (フランス) (3年目6月)  
世界最大規模アニメーション専門映画祭。長編・短編・学生作品など多彩な部門があり、業界関係者と学生が国際的に交流する重要な場となっている。
- ・上海国際映画祭 (中国) (3年目10月)  
アジア最大級規模を誇る。世界各国映画が上映され、映画人同士の交流や国際共同制作機会が生まれる場となっている。
- ・ファンタジア国際映画祭 (カナダ) (3年目10月)  
カナダ・モントリオールで開催される世界有数の映画祭で、アニメ、ホラー、SF、作品を中心に紹介。日本アニメ評価も高く、北米市場へ登壇ともされている。



大阪芸術大学 映像学科 学科長/事業責任者 田中 光敏(映画監督)

- └─ 国際アニメーション人材育成プログラム構築・実践事業事務局（新設）
  - └─ 運営部
    - | (プロジェクト全体の運営を担う)
  - └─ 教育部
    - | (教育カリキュラムの策定、研修プログラムの運営を担当)
  - └─ 制作部
    - | (作品制作に関する事項、学生派遣の管理を行う)
  - └─ 広報部
    - | (成果発信を一元的に推進する)
- └─ 指導者・スタッフ
  - └─ 大学教員
  - └─ 協力プロデューサー
    - └─ 山賀 博之 氏 (プロデューサー・アニメ監督・脚本)
    - └─ 大塚 雅彦 氏 (プロデューサー・アニメ監督・脚本、株式会社トリガー代表取締役)
- └─ 連携協力企業
  - └─ 東映ツークン研究所 東京撮影所/株式会社スタジオブロス
  - 株式会社トリガー/株式会社BENTEN Film
  - 公益財団法人 ユニジャパン